

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表								
事業所名		てらぴあぱけっと 向ヶ丘遊園教室						
公表日		2025/10/29						
利用児童数	34	回収数	18	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17			1		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			1		
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8	児童発達支援計画（個別支援計画）の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16			3		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	4	8	必要性を感じていません。	個人情報保護の観点から行っておりません。必要に応じて園訪問をおこなっておりますので、ご希望があれば職員までお伝えください。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3		2		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていますか。	16	1		1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3	1	5		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1		2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	1		4		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18					

非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16			2		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1		6		
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			4		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1		1		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	18					
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	1		1	先生やお友達に会えるのを楽しみにしています。	お子さまが楽しんで様々なスキルを練習できるよう今後も環境設定や関係構築を行っていきます。
	29 事業所の支援に満足していますか。	18					

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名	てらびあぽけっと向ヶ丘遊園教室					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	週に複数回利用してもらえるようにご案内、SNSや説明会を実施している。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3			特に土日は人員不足気味で呼び出し式のこともある。お子さまの様子によっては補助の職員が必要。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	おもちゃが刺激になる場合はマットで隠す等の対応を行っている。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	時間があるときに消毒や備品の確認を行っている。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	毎月目標を設定し、振り返りを行っている。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	年1回アンケートを行っている。面談やフィードバック時でご要望を聞き、改善に繋げている。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	職員会議を月に1度は行い、必要に応じて会議・検討を行っている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	必要に応じて訪問SVをお願いしている。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	施設内研修やてらばけLABOに参加している。		同じような内容のことがあるので、STやOTから見てABAでできることをもっと知る機会がほしい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	セラピーノートで保護者と共有している。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	会議・面談内容をもとに児童発達支援管理責任者が作成している。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	児童発達支援管理責任者が行っている。都度、カンファレンスを行っている。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	都度カンファレンスを行っている。計画書から分かりづらいことがあれば確認して支援がずれないようにしている。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	引継ぎや日報で行っている。		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に	7	0			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	遊びが固定化されないよう、様々なものを提案している。		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	要検討・要相談の際も、必ずメモを残すようにしている。		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	児童発達支援管理責任者が行っている。		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	児童発達支援管理責任者が外部の会議にも参加している。		
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	医療に関しては協定書を掲示しており、すぐに連携が取れるようになっている。		

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	必要に応じて児童発達支援管理責任者が行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	必要に応じて児童発達支援管理責任者が行っている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		保護者が必要性を感じていないのであれば必要がない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	支援方針にずれが生じないよう、計画書の確認・前回担当した職員と様子を共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	契約時や必要に応じて、保護者にもプログラム内容等を共有している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	専門的になりすぎないよう、説明する際には気を付けている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	説明会や懇親会を実施している。	説明会や懇親会の場を設定しているが、参加人数が少ないので検討が必要。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が行っている。	説明会や懇親会の場を設定しているが、参加人数が少ないので検討が必要。
保護者への説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	SNSやお手紙を配布して情報を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	職員によるダブルチェックを行い、漏れのないようにしている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	説明会を行う際には、チラシやSNSでお知らせをしている。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に実施している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	食事はないので把握のみ行っている。	座学では学んだが、食事がないので実際に対応したことがなく不安がある。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		環境や支援中等、どのような危険があるのかどうしたら良いのか検討機会があると良い。
非常時等の対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	毎月末にヒヤリハットの集計を行い、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止アンケートの実施やカンファレンスを定期的に行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	契約時に説明している。	共有されているが、児童発達支援計画に記載されているか不明。

事業所における自己評価総括表

公表				
○事業所名				
○保護者評価実施期間	年 月 日 ~ 2025 年 10 月 15 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	年 月 日 ~ 2025 年 10 月 15 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025/10/28			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	0歳からお預かりでき、成長に応じて集団活動や小学校に近い環境設定で必要なスキルの練習を行っている。	小さなお子さまには、安全面の確保をしつつ五感を刺激するプログラムを提供している。成長に応じて、目標等を明確にして小学校でよくある場面設定を行い、小学校就学後に感じる負担が最小限になるよう、練習を行っている。	引き続き、行政や関係機関と連携をとり、正しい情報を職員が身に着けていく。
2	日頃から職員間で情報共有ができる環境を作っているため、保護者からのご相談にも専門的な答えを出し、お子さま一人一人にあつた支援を行っている。	普段から職員間で情報共有しやすい雰囲気を作り、必要に応じて検討会議やカンファレンスを行っている。	引き続き、職員間でのコミュニケーションを大切にし、小さなことも共有していく。
3	目標設定がスマールステップなので、お子さまの成功体験に繋がりやすい。	お子さまの行動等を分析し、ターゲットにしているものが難しいと判断した場合、段階とプログラムの見直しを行っている。	引き続き、職員間でお子さまについての情報共有を行い、分析を行っていく。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信力が弱く、説明会を開催しても参加人数が少ない。	SNS等の情報発信についての知識に偏りがあり、それらを効果的に活用できていない。	より効果的な活用方法の習得を目指す。
2	他の事業所に比べ、お預かり時間が短い。	短時間だからこそその良さが新規の方には伝わりづらい。	見学時やお問い合わせを頂いたときに、短時間だからこそできる支援についてしっかりとお伝えする。
3	土日利用を希望される方が多く、1クール4枠なので希望に添えないことがある。	需要が高い。	空きが出た場合、積極的に振替・追加のご案内をする。